

平成30年度 第1回 人権問題都民講座

東京のイスラム社会

日時: 平成30年7月14日(土)

14:00開講 16:00終了予定



講師: クレイシ・ハールーンさん

日本イスラム文化センター
マスジド大塚 事務局長

会場: 東京都人権プラザ

セミナールーム (裏面地図参照)

港区芝2-5-6 芝256スクエアビル1F

定員: 80名

参加無料／要事前申込 (応募者多数の場合は抽選)

手話通訳・託児保育あり

託児保育は要事前申込

手話通訳以外の情報保障はお問合せ下さい。

[お申し込み・お問い合わせは] 東京都人権プラザ

〒105-0014 東京都港区芝2-5-6 芝256スクエアビル 1・2階

電話 03-6722-0123 FAX 03-6722-0084

主催: 東京都人権プラザ

指定管理者 (公財) 東京都人権啓発センター

【開催にあたって】

東京にある「モスク」や「マスジド」(イスラム教の礼拝堂)は、都内や首都圏で暮らすムスリム(イスラム教徒)の礼拝やコミュニケーションの場となっています。豊島区南大塚にあるマスジド大塚もその一つで、今から18年前にオープンしました。現在では施設として地域の祭りや行事にも参加できるまでに至っていますが、これまでには様々な紆余曲折がありました。

施設の運営に携わるクレイシ・ハールーン氏を講師に招き、周囲の理解や施設の定着に向けての苦労や、東京のイスラム社会の特質について何うとともに、ムスリムにとって現在の東京は暮らしやすい場所なのか、お話しいただきます。東京の「いま」を感じ取り、都市における「共生」の意味について、参加者とともに考える講座です。

【講師プロフィール】

クレイシ・ハールーン Haroon Qureshi
宗教法人日本イスラム文化センター／マスジド大塚事務局長。1991年パキスタンから来日。マスジド大塚は、東日本大震災の被災地支援や、東京・池袋でのホームレス支援など、様々な活動を行っている。

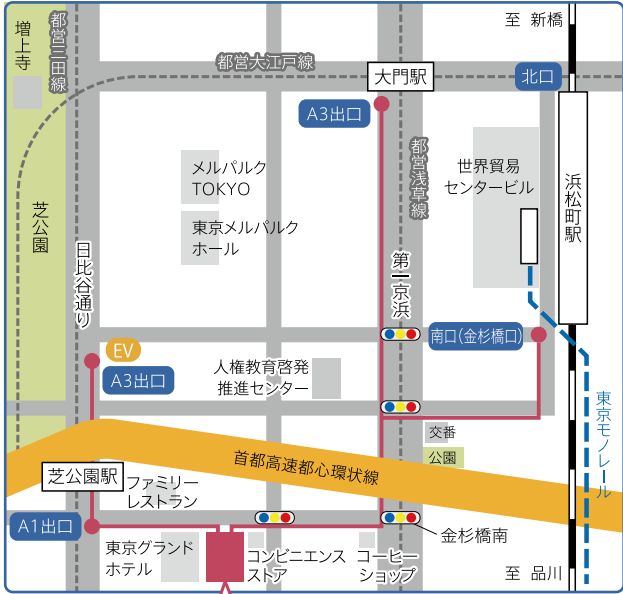
【講座フォローアップ】

講座当日、開講前の12時30分から、都内でイスラム文化を知ることができる施設などを紹介するスライドレクチャーを行います。(事前申込不要、先着80名、参加無料)

【会場へのアクセス】

東京都人権プラザ セミナールーム
港区芝2-5-6 芝256スクエアビル 1F

- 都営三田線「芝公園駅」A1出口から徒歩3分
車いす・ベビーカー等ご使用の方はA3出口エレベータをご利用ください。
- 都営浅草線・大江戸線「大門駅」A3出口から徒歩7分
- JR・東京モノレール「浜松町駅」南口(金杉橋方面)から徒歩8分



東京都人権プラザ
(指定管理者: (公財) 東京都人権啓発センター)

電話・FAX・Eメールにてお申し込みください。

お申込先 東京都人権プラザ

電話 03-6722-0123

Eメール fukyu3002@tokyo-jinken.or.jp

FAX申込みフォーム

FAX 03-6722-0084

①お名前(代表者)	参加人数 人	
②ご連絡先 (いずれかお選びいただき、ご記入ください。)	電話	FAX
	メール @	
③ご所属またはご住所	〒	
④情報保障・託児等の希望	有・無 【希望内容】	

※応募者多数の場合は抽選となります。ご提供いただいた個人情報は、申込手続以外使用しません。申込締め切り7月9日(月)

平成30年度 第2回 人権問題都民講座

現代アメリカの音楽文化と人権

ラップは時代を映しているか？

日時: 平成30年8月24日(金) 18:30—20:30
(開場 18:00)



おおわだとしゆき

講師: 大和田俊之 慶應義塾大学法学部教授

会場: 東京都人権プラザ

セミナールーム (裏面地図参照)

港区芝2-5-6 芝256スクエアビル1F

定員: 80名 参加無料／要事前申込(応募者多数の場合は抽選)

[お申し込み・お問い合わせは] 東京都人権プラザ

〒105-0014 東京都港区芝2-5-6 芝256スクエアビル 1・2階

電話 03-6722-0123 FAX 03-6722-0084

指定管理者: (公財)東京都人権啓発センター

【開催にあたって】

ラップミュージックに代表されるヒップホップカルチャーは、国や地域を越えて、いまや世界中の若者に支持されています。ファッションやダンス、アートなどと同様に、音楽は政治や社会から常に影響を受けながら変化し続けており、同時に、現代における人権のあり方を色濃く反映しています。この講座では、アメリカの音楽文化を専門とする講師が、音楽の持つ時代性や、社会・人権との関わり等について、楽曲とともに解説します。ヒップホップを中心とする現代アメリカの音楽シーンを、人権の視点から読み解く講座です。

【講師プロフィール】



大和田俊之(おおわたとしゆき)さん 慶應義塾大学法学部教授

1970年生まれ。専門領域はアメリカの音楽文化。2011年『アメリカ音楽史 ミンストレル・ショウ、ブルースからヒップホップまで』でサントリー学芸賞を受賞。その他共著に『文化系のためのヒップホップ入門』(2011)『ラップは何を映しているのかー「日本語ラップ」から「トランプ後の世界」まで』(2017)『村上春樹の100曲』(2018)

写真提供: ゲンロンカフェ

【会場へのアクセス】

東京都人権プラザ セミナールーム
港区芝2-5-6 芝256スクエアビル 1F

○都営三田線「芝公園駅」A1出口から徒歩3分
車いす・ベビーカー等ご使用の方はA3出口エレベータをご利用ください。

○都営浅草線 大江戸線「大門駅」A3出口から徒歩7分

○JR・東京モノレール「浜松町駅」南口(金杉橋方面)から徒歩8分



【講座フォローアップ】

東京都人権プラザの専門員によるブックトーク「人権を学ぶ人のためのヒップホップ入門」を実施します。講師の著書や映像作品等を手がかりに、人権の視点からヒップホップカルチャーを読み解くための「入門者トーク」です。

※講座当日 17時からセミナールームで実施。
(事前申込不要、先着 80 名、参加無料)

電話・FAX・Eメールにてお申し込みください。

お申込先 東京都人権プラザ

電話 03-6722-0123

Eメール fukyu3001@tokyo-jinken.or.jp

FAX申込みフォーム FAX 03-6722-0084

①お名前(代表者)	参加人数 人	
②ご連絡先 (いずれかお選びいただき、ご記入ください。)	電話 FAX	
③ご所属またはご住所	〒	
④情報保障・託児等の希望	有・無	【希望内容】

※応募者多数の場合は抽選となります。ご提供いただいた個人情報は、申込手続以外使用しません。

申込締め切り8月17日(金)

対談：子育て漫画の描き方

私たちが子供から教えてもらったこと

平成 30 年 9 月 15 日 (土)

13:00-14:30

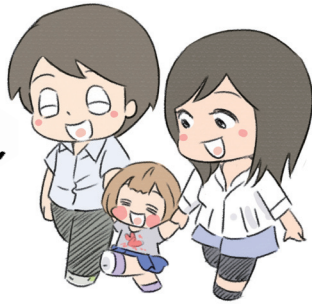
会場：東京都人権プラザ
セミナールーム

東京都港区芝 2-5-6 裏面地図参照
芝 256 スクエアビル 1F



© 丸本チンタ / KADOKAWA

講座のあとで
ご参加いただ
いた皆さんと、
意見交換も行い
ます。



私たちの
子育て経験を
お話します。
ぜひ、ご参加
ください。



© たちばなかおる / 双葉社

講師：

丸本チンタさん（漫画家）

たちばなかおるさん（漫画家）

山崎旬さん（編集者）

開催協力：（一般社団法人）

みなとこぞってネットワーク

※お申込み多数の場合は抽選になります。

【定員80名／参加無料／申込方法は裏面に／情報保障・託児は事前にお申込みください】

子育て漫画（育児コミック）は、日本の漫画のジャンルの一つです。出産や育児に関する題材を扱い、妊産婦や乳幼児を育てている母親を主な読者として想定し、1990年代から育児雑誌等に連載されて、次第に読者を増やしてきました。最近ではウェブサイト上で無料閲覧できるコミックや、ブログで連載される育児日記形式のものも多く、新たな読者を獲得しながら、プロ・アマを問わず作り手が活躍しています。こうした子育て漫画の流行が何を意味しているのかについて、作家と編集者による対談形式で掘り下げて考えます。また、作家自身の子育て経験について語っていただき、その中で大切にしてきたこと、学んだことを参加者と共有しながら、女性活躍や男女共同参画、さらに子供の人権を守る環境とはどのようなものなのか、ということについて参加者とともに考えます。

【講師】

まるもと
丸本チンタさん（漫画家）
代表作に、「おひさまもっちゃん！」
ブログ「あの日のもっちゃん」好評連載中。

たちばなかおるさん（漫画家）
代表作に、「ユンタのゆっくり成長記」
最新刊「そもそもウチには芝生がない」①②(双葉社)

やまさき しゆん
山崎旬さん（編集者）
株式会社 KADOKAWA・メディアファクトリー

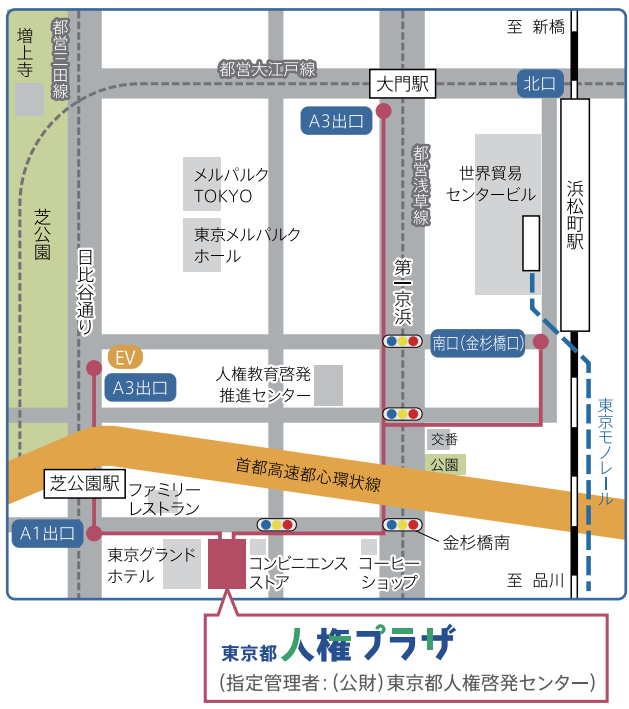


【講座フォローアップ】 14:45-16:00
子供・子育てこそってカフェ@人権プラザ

講座参加者が講座の内容を受けて、それぞれどのように感じたかを話し合う場です。7～10人のグループに分かれて意見を交換しながら、子供の人権について、また子育ての悩み等について話し合うことで、共有と理解の時間とします。

開催にあたっては、一般社団法人みなとこぞってネットワークにご協力をいただきます。

※講座開催後、セミナールームで実施。
(事前申込不要、先着 80 名、参加無料)



港区芝2-5-6 芝256スクエアビル 1F
○都営三田線「芝公園駅」A1出口から徒歩3分
車いす・ベビーカー等ご使用の方はA3出口エレベータをご利用ください。
○都営浅草線 大江戸線「大門駅」A3出口から徒歩7分
○JR・東京モノレール「浜松町駅」南口(金杉橋方面)から徒歩8分

電話・FAX・Eメールにてお申し込みください。

お申込先

東京都人権プラザ

電 話

03-6722-0123

Eメール

fukyu3002@tokyo-jinken.or.jp

FAX申込みフォーム

FAX 03-6722-0084

①お名前(代表者)	参加人数 人	
②ご連絡先 (いずれかお選びいただ いて、ご記入ください。)	電話	FAX
	メール @	
③ご所属またはご住所	〒	
④情報保障・託児等の希望	有・無 【希望内容】	

持続可能な個人の尊厳の確立に向けて

平成30年度第4回人権問題都民講座

人間の安全保障と難民問題のいま



～移動するヒト・変貌する世界～

【人間の安全保障とは】

人間の安全保障とは、人間一人ひとりに着目し、生存・生活・尊厳に対する広範かつ深刻な脅威から人々を守り、それぞれの持つ豊かな可能性を実現するために、保護と能力強化を通じて持続可能な個人の自立と社会づくりを促す考え方です。グローバル化、相互依存が深まる今日の世界においては、貧困、環境破壊、自然災害、感染症、テロ、突然の経済・金融危機といった問題は国境を越え相互に関連しあう形で、人々の生命・生活に深刻な影響を及ぼしています。このような今日の国際課題に対処していくためには、従来の国家を中心に据えたアプローチだけでは不十分になってきており、「人間」に焦点を当て、様々な主体及び分野間の関係性をより横断的・包括的に捉えることが必要となっています(外務省ホームページより抜粋)

平成30年12月22日(土)

14:00-16:00 (開場 13:30)

さとうやすのぶ
講師: 佐藤安信

東京大学大学院総合文化研究科教授
持続的平和研究センター センター長

会場: 東京都人権プラザ
セミナールーム (裏面地図参照)
港区芝2-5-6 芝256スクエアビル1F

定員: 80名 参加無料/要事前申込
(応募者多数の場合は抽選)

[お申し込み・お問い合わせは] 東京都人権プラザ

〒105-0014 東京都港区芝2-5-6 芝256スクエアビル 1・2階

電話 03-6722-0123 FAX 03-6722-0084

指定管理者: (公財) 東京都人権啓発センター



社会のグローバル化にしたがって、ヒト（人間）やモノ、サービスの国家間移動はますます盛んになっています。とりわけヒトの移動については、旅行や労働、移民・難民・国内避難民など様々な形態があり、それぞれが区別困難な場合があります。UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）の報告では、2017（平成 29）年末における世界の難民は 2,540 万人です。国内避難民や庇護申請者を加えると、6,850 万人が支援対象者とされています。近年のシリア難民の増加や彼らが置かれた過酷な状況などは、難民を取り巻く状況が一層深刻化していることをあらわしているといえるでしょう。

「人間の安全保障」は、持続可能な平和を構築するための比較的新しい考え方です。人間一人ひとりに着目して安全保障を考えることにより、国家間の安全保障を補完し、一人ひとりの命の尊厳や生活を守る有効な概念として期待されています。

どのような経緯でこうした考え方が提唱され、現在そこで何が議論されているのでしょうか。国際機関で長く法務専門家として活動してきた講師が解説します。

【講 師】

佐藤 安信（さとう・やすのぶ）

東京大学大学院総合文化研究科教授。UNHCR 法務官（オーストラリア 1991～92）、UNTAC 人権担当官（カンボジア 1992～93）として難民保護、平和維持・構築、法整備、司法改革支援活動に従事。その後、欧州復興開発銀行（EBRD）弁護士（ロンドン、1995～97）等を歴任。ロンドン大学大学院博士（PhD in Law, 2000）。平和構築研究会主催（2002～）。日本弁護士連合会国際交流委員会国際司法支援センター幹事を務める。



【講座フォローアップ】16：15-17：30

難民と語り合うカフェ@人権プラザ

在日ミャンマー難民のチョウチョウソーさんをお招きし、講座参加者（希望者のみ）と語り合う場を設けます。当事者との直接交流によって、難民の方が日本で生活する上での困難や生きづらさについて考えてもらう機会とします。

※講座開催後、セミナールームで実施。
（事前申込不要、先着 80 名、参加無料）

【会場案内:東京都人権プラザ】



港区芝2-5-6 芝256スクエアビル 1F
○都営三田線「芝公園駅」A1 出口から徒歩3分
車いす・ベビーカー等ご利用の方はA3 出口エレベータをご利用ください。
○都営浅草線 大江戸線「大門駅」A3 出口から徒歩7分
○JR・東京モノレール「浜松町駅」南口（金杉橋方面）から徒歩8分

電話・FAX・Eメールにてお申し込みください。

お申込先 東京都人権プラザ

電 話 03-6722-0123

Eメール fukyu3001@tokyo-jinken.or.jp

FAX申込みフォーム FAX 03-6722-0084

①お名前(代表者)	参加人数		人
②ご連絡先 (いずれかお選びいただき、ご記入ください。)	電話	FAX	
	メール	@	
③ご所属またはご住所	〒		
④情報保障・託児等の希望	有・無	【希望内容】	

※応募者多数の場合は抽選となります。ご提供いただいた個人情報は、申込手続以外使用しません。

障害の有無や世代を超えて、
「誰もが一緒に」楽しめることを考える。

子どもも大人も楽しめる！

「みんなで遊べる」 おもちゃのはなし

誰もが遊び親しんだことのある「おもちゃ」。そこには、さまざまな工夫やアイデアが込められ、人権を考えるヒントが詰まっています。世代を超えて、私たちに楽しさや面白さ、時には癒しを提供してくれるおもちゃは、時に、他者との関わりやコミュニケーションを学ぶことに、大きな力を発揮します。

この講座では「人権をおもちゃから考える」をキーワードに、障害のある方も楽しめるおもちゃの特徴や、高齢者の施設でのおもちゃの役割などを中心に紹介・解説します。

おもちゃを通して、障害の有無や世代を超えて、「誰もが一緒に」楽しめることの意味について考えてみませんか。

日時 平成31年2月2日(土) 13:30～15:00 (開場13:00)

講師 橘高 春生 さん (認定 NPO 法人芸術と遊び創造協会 施設運営部部长)
磯 忍 さん (同 人材育成部 / 高齢者アクティビティ開発センター 主任研究員)

会場 東京都人権プラザ
セミナールーム
港区芝2-5-6 芝256スクエアビル1F (裏面地図参照)

定員 80名 参加無料／要事前申込 (応募者多数の場合は抽選)
※本講座は大人向けの講演会です。手話通訳/託児あり(要申込)



お申し込み・お問い合わせは

東京都人権プラザ

〒105-0014

東京都港区芝 2-5-6 芝 256 スクエアビル 1・2 階

電話 03-6722-0123 FAX03-6722-0084

申込締切り
1/26(土)

締切日を過ぎても席がある場合は
お申し込みを受け付けます。

講師

きつ たか はる み

橘高 春生さん(写真左)

(認定 NPO 法人芸術と遊び創造協会 施設運営部部長)

いそ しのぶ

磯 忍さん(写真右)

(同 人材育成部 / 高齢者アクティビティ開発センター 主任研究員)



講座フォローアップ

東京都人権プラザの専門員によるトークプログラム「身近にある、人権を考えるおもちゃ」を実施します。誰もが知っている有名なおもちゃの中から、「人権」の視点でセレクトした実例を紹介します。

※講座当日 15 時からセミナールームで実施。

(事前申込不要、先着 80 名、参加無料)

同日開催

子供人権教室

いくつかのおもちゃを実際に体験する、子供人権教室「みんなで遊ぼう！おもちゃからじんけんを考える」を同日開催いたします。幅広い年齢層の方に、楽しみながら人権を考える機会をご提供いたします。

※講座当日 15 時 30 分からロビーギャラリーで実施。都民講座と連続してご参加いただけます。詳細はお問い合わせください。

(要事前申込、学齢前児童参加可能、参加無料)

都民講座

13:30 ~ 15:00

フォローアップ

15:00 ~ 15:30

子供人権教室

15:30 ~ 17:00



【交通案内】

都営三田線「芝公園駅」 A1 出口徒歩 3 分
車いす・ベビーカー等をご使用の方は A3 出口
(エレベーター) をご利用ください。

都営浅草線・大江戸線「大門駅」 A3 出口徒歩 7 分
JR・東京モノレール「浜松町駅」南口(金杉橋方面) 徒歩 8 分

■情報保障

託児・手話通訳などの情報保障をご希望される方は
下記フォームにてお申し込みください。

電話・FAX・Eメールにてお申し込みください。

お申込先

東京都人権プラザ

電 話

03-6722-0123

Eメール

fukyu3001@tokyo-jinken.or.jp

FAX申込みフォーム

FAX 03-6722-0084

①お名前 (代表者)

参加人数

人

②ご連絡先

電話

FAX

(いずれかお選びいただき、ご記入ください。)

メール

@

③ご所属またはご住所

〒

④情報保障 (託児・手話等)

有 ・ 無

【希望内容】

※ご提供いただいた個人情報は、申込手続以外には使用いたしません。

異なる身体感覚で世界を「見る」方法とは

～視覚と言語と運動する身体～

日時:平成31年3月2日(土)

14:00-16:00 (13:30開場)

講師:伊藤亜紗 (いとうあさ)

東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授

会場:東京都立多摩図書館 2階

セミナールーム

東京都国分寺市泉町2-2-26

(裏面地図参照)

参加無料 定員80名

主催:東京都人権フラザ (指定管理者:公益財団法人東京都人権啓発センター)

手話通訳・託児あり
(要事前申込)

その他、情報保障についてはお問い合わせください。

[お申し込み・お問い合わせは]

東京都人権フラザ

指定管理者:公益財団法人東京都人権啓発センター

〒105-0014 東京都港区芝2-5-6 芝256スクエアビル 1階・2階

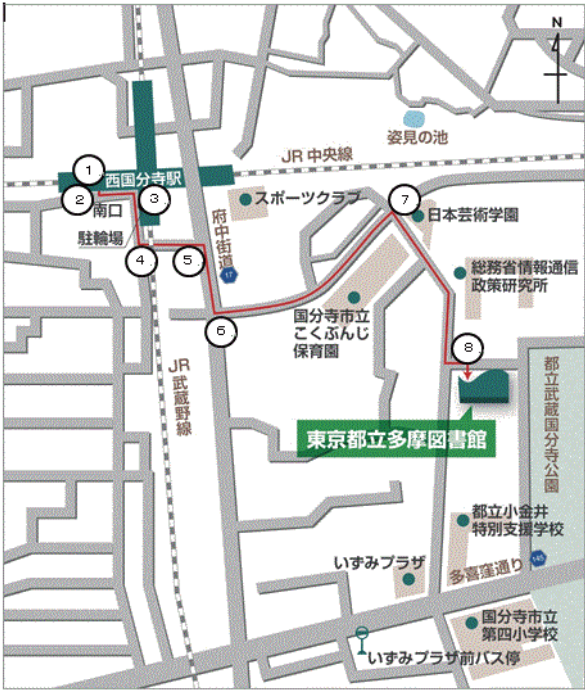
電話 03-6722-0123 FAX 03-6722-0084

目が見えない人は世界をどのように感じ、把握しているのでしょうか。例えば目が見えない人は夢を「見る」のでしょうか。また、視覚がさえぎられた状態で、パラアスリートたちが全力で競技できるのはなぜなのでしょう。こうした素朴な疑問に答えるため、当事者への聞き取り調査等で得られた新たな知見をもとに講師が解説します。技術の進歩や社会の変化に応じて、障害についての考え方も変わってきています。異なる身体感覚を持つ人々が世界を把握する方法を共有することは、障害を深く理解するための契機となるものです。障害者に対する固定化されたイメージを取り除くことが、障害者の人権について考えるための第一歩です。

【講師プロフィール】

伊藤 亜紗 (いとう・あさ)

東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授
1979 年生まれ。専門は美学。もともと生物学者を目指していたが、大学3年次より「文転」(文系学部への転出)。東京大学大学院人文社会系研究科美学芸術学専門分野博士課程修了(文学博士)。主な著作に『ヴァレリーの芸術哲学、あるいは身体の解剖』(水声社)、『目が見えない人は世界をどう見ているのか』(光文社新書)、『どもる体』(医学書院/シリーズ ケアをひろく)など。



【講座フォローアップ】

講座終了の後、およそ 30 分程度、講師の著書等を紹介しながら、東京都人権プラザの専門員がブックトークを行います。
(事前のお申し込みは不要です)

【会場へのアクセス】

- 1. J R 中央線・武蔵野線 西国分寺駅の改札を出て左に曲がります。
- 2. 南口の駅敷地内を出たところで左に曲がります。
- 3. 突き当りに駐輪場が見えますので、そこを右に曲がります。
- 4. 左側に J R 武蔵野線のガードが見えてきますので、そこを左に曲がります。
- 5. ガード下をくぐり、その先に府中街道がありますので横断して右に曲がります。(府中街道に矢印案内看板が設置されています。)
- 6. 1 つ目の交差点を横断して左に曲がります。(交差点に矢印案内看板が設置されています。)
- 7. 道なりに約 2 3 0 m ほど歩くと交差点がありますので、横断して右に曲がります。(交差点に矢印案内看板が設置されています。)
- 8. 約 1 4 0 m ほど道なりに歩くと左側に都立多摩図書館があります。

【お申し込みは】

電話 03-6722-0123 F A X 03-6722-0084

Eメール fukyu3001@tokyo-jinken.or.jp

FAX申込みフォーム FAX 03-6722-0084

①お名前(代表者)	参加人数 人	
②ご連絡先 (いずれかお選びいただき、ご記入ください。)	電話	FAX
	メール @	
③ご所属またはご住所	〒	
④情報保障・託児等の希望	有・無 【希望内容】	

※申込締切日:平成31年2月15日(金) 応募者多数の場合は抽選となります。定員に満たない場合は引き続きお申し込みを受け付けます。
なお、ご提供いただいた個人情報は、申込手続以外使用しません。